

令和7年度ヨコハマ市民まち普請事業

1次コンテスト 整備提案集

日時：令和7年7月13日（日）10:15～16:40

会場：横浜市役所アトリウム



事務局 横浜市都市整備局 地域まちづくり課
横浜市住宅供給公社
認定NPO法人 市民セクター横浜

■目次■

1. ヨコハマ市民まち普請事業とは	1
2. 審査員名簿、委員紹介	2
3. まちづくりコーディネーター紹介	7
4. 令和7年度のスケジュール	8
5. 令和7年度ヨコハマ市民まち普請事業1次コンテスト	
(1) 1次コンテストプログラム	9
(2) 1次コンテスト審査基準	10
(3) 1次コンテストの投票方法・選考方法	10
6. 1次コンテスト提案一覧	11
(1) 生麦事件参考館リユースプロジェクト【一次免除】	12
(2) 鶴見西口活性化委員会	18
(3) 桜通りをたのしくする会	24
(4) 空き家を使った町ingプロジェクト委員会	30
(5) リエトモ倶楽部	36
(6) 横浜駅西口トリコロールリバーズ	42
(7) 共感と挑戦が巡るまちの未来デザインチーム	48

1. ヨコハマ市民まち普請事業とは

「ヨコハマ市民まち普請事業」では、市民のみなさんが主体となって行う地域の課題解決や魅力向上のための施設（ハード）整備を伴うまちづくりに対して横浜市が支援・助成を行うことで、地域に合ったまちづくりが実現することを目指しています。

市民のみなさんによるアイデア検討やコンテストへのチャレンジ、整備への労力提供や整備後の施設の維持管理、活用・運営などの機会を通じて、地域コミュニティが活性化し、地域まちづくりの輪が広まることで、横浜の魅力を一層向上させていくことを目的としています。**令和5年度から「子育てプラス」として、次世代を共に育む地域づくりの推進のため、選考件数や支援体制を拡充しています！**

※地域まちづくり・・・身近な地域の魅力づくりや課題解決に向けた取組のことです。

※まち普請・・・「普請（ふしん）」は「普く請う（あまねくこう）」とも読み、「力を合わせて作業に従事すること」という意味が含まれています。
「公共」は行政によってのみ担われるものではなく、特に地域に根ざした身近な課題への対応などに市民のみなさんが主体的に関わることで、参加する人や地域に暮らす人々の満足度を高めることに繋がっていきます。

「まち普請」には、市民のみなさんに身近な「まち」に「普請」の輪を広げていきたいという願いが込められています。

＜支援内容＞

● 1次コンテストを通過した提案グループへの支援

- 30万円を限度に活動助成金を交付します。
（市の予算の範囲内で助成します。）
- 活動助成金の対象は、提案をブラッシュアップすることを目的にした活動です。
- 対象経費は、主にまちづくりコーディネーター（まちづくりの専門家）など技術面での協力者への謝金や広報活動費、用紙等事務用品費等です。
- 提案内容の整理等をアドバイスしてくれるまちづくりの専門家を紹介します。
- 2次コンテストに向けて提案の実現性を高めるため、提案内容の整理や関係機関との協議・調整などを地域まちづくり課職員が支援します。

● 2次コンテストを通過した提案グループへの支援

- 50万～500万円を限度に整備助成金を交付します。
（市の予算の範囲内で助成します。）
- 対象経費は、設計費、工事費、工事監理費、活動経費です。
- 整備内容の整理や関係機関との協議・調整などを、整備が完了するまで地域まちづくり課職員が支援します。

2. 審査員名簿

(ヨコハマ市民まち普請事業部会 委員名簿)

	氏 名	現 職
審査員長 (部会長)	かわはら すすむ 川原 晋	東京都立大学都市環境学部教授 (都市デザイン、市民事業、観光まちづくり)
審査員 (部会委員)	うえまつ まみこ 植松 満美子	松ヶ丘自治会会長 (まちづくり、市民活動)
	おがわ ともりの 小川 智紀	認定 NPO 法人 ST スポット横浜 理事長 (市民協働、アート)
	くにひろ じゅんこ 國廣 純子	武蔵野美術大学建築学科教授 (都市計画、まちづくり、市街地再生)
	ごとう ちかこ 後藤 智香子	東京都市大学環境学部准教授 (まちづくり、住環境、こども環境)
	とりうみ ちえこ 鳥海 知恵子	市民委員 (公募)
	ひご きみこ 肥後 貴美子	市民委員 (公募)
	まつむら まさはる 松村 正治	NPO 法人よこはま里山研究所理事長 (市民協働、環境社会学)

(五十音順、敬称略)



●川原 晋（かわはら すすむ）
東京都立大学都市環境学部教授

専門は観光まちづくり、都市・地域デザイン。観光地再生、まちづくり市民事業、市民参加まちづくり、公民連携による公共空間活用などの理論と実践に取り組んでいます。

前職では、都市計画コンサルタントや建築設計者として、横浜市や区の都市計画マスタープランや市民利用施設の検討ワークショップ等の業務や、福祉施設等の設計に携わりました。

藤沢市都市景観アドバイザー、八王子市景観審議会委員、横浜市地域まちづくり推進委員会表彰部会委員（横浜・人・まち・デザイン賞）、地元小学校の PTA 会長などを経験。趣味はガーデニング。



●植松 満美子（うえまつ まみこ）
松ヶ丘自治会会長

青少年指導員、主任児童委員を務め、子ども達や学校、子育て支援などに関わる様々な地域活動に携わってきました。私の住む松ヶ丘地区は、横浜駅にほど近い丘陵地。国道 1 号線から一步入ると急な坂道や細い道が多く、通学、通勤、買い物に行くのにも坂の上り下りは欠かせません。また、指定

されている地域防災拠点や広域避難場所への避難も、高齢の方や障害をお持ちの方には難しいことと、東日本大震災を経て痛感させられました。そこで自治会では、いつとき避難場所として自治会館の活用に思い至り、防災機能と備蓄品の充実を図るため自治会館内に防災備蓄庫を設置することを決定。これを「まち普請事業」の助成を得て平成 25 年度、完成させることが出来ました。私はこの活動に深く関わる機会を得て、その後自治会内に立ち上げた「松ヶ丘防災に強い町をつくる会」の活動を通して、「松ヶ丘まちづくりプラン」の策定に努め、松ヶ丘町内の防災面の強化に関わってきました。現在、松ヶ丘自治会会長を務める傍ら、地区連合自治会、地域防災拠点の運営委員会とも連携しながら、住み心地のよい地域づくりに腐心しています。



●小川 智紀（おがわ ともり）
認定 NPO 法人 ST スポット横浜 理事長

1999 年から芸術普及事業に関わり、2004 年にアート NPO である ST スポット横浜の地域連携事業立ち上げに参画しました。現在、アートの現場と学校をつなぐ横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局や、民間の芸術文化活動をサポートするヨコハマアートサイト事務局、障害者芸術文化活動普及支援事業の連携事務局を担当しています。社会福祉士、社会教育士として、芸術文化分野と教育、まちづくり、障害福祉分野の連携を模索中です。ダンスや子ども劇場、アート NPO といった分野で活動する中間支援組織で、役員もしています。

客観的で合理的な根拠を示すこと、目標を達成し課題を解決することはもちろん大事です。それ以上に、楽しい、面白い、興味深いと思えることにあふれた地域の可能性に着目しています。



●國廣 純子（くにひろ じゅんこ）
武蔵野美術大学建築学科教授
タウンマネージャー

慶応義塾大学経済学部卒業後、日本銀行調査統計局勤務。東京理科大学工二部建築学科を経て、三分一博志建築設計事務所にて犬島アートプロジェクトにて精錬所など一連の建築・ランドスケープのデザインを担当。

2010 年に拠点を北京へ移し、中国ローカルの都市計画・建築設計事務所にて国際プロジェクト責任者としてチームビルディングやプロジェクトマネジメントを経験。2013 年より、自治体の市街地でのまちづくりを公民を問わず総合的に支援する仕事として、タウンマネージャーのキャリアをスタート。青梅市では 10 年間で 130 件の開業、あきる野市では 6 年間で 50 件の開業を創出。賃貸に出されていない空き物件の面的調査や物件交渉等のスキーム構築、開業を促進する情報発信など、特定エリアの不動産市場の再起動やまちのイメージを高めるマネジメントを実践しています。



●後藤 智香子（ごとう ちかこ）
東京都市大学環境学部環境創生学科
都市環境分野准教授

東京理科大学理工学部建築学科卒業、東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻修士課程修了、同専攻博士課程修了・博士（工学）。柏の葉アーバンデザインセンターディレクター、東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻特任助教、同大学先端科学技術研究センター特任講師などを経て2023年より現職。

学生時代から、住民主体による私有地を活用したまちづくりやそれを支える制度について研究をしてきました。具体的には、世田谷区の地域共生のいえづくり支援事業制度などについて研究をし、またそのご縁で地域共生のいえの一つ、「岡さんのいえ TOMO」の運営に10年以上携わっています。また最近は、こども環境についても都市計画・まちづくりの観点から研究を進めており、特に保育園（こども施設）と地域との空間的・社会的な関わりについて研究しています。



●鳥海 知恵子（とりうみ ちえこ）
市民委員

住み開きで家庭文庫を開く家庭で育つ。東日本大震災時、子育て中に出逢った仲間と「大人とこどもが一緒に考える・心をつなぐ・みみをすます」小さな会を立ち上げたことが地域活動の原点です。保育士として子育て支援に携わる一方、自分の地域で子どもと大人が混ざり合って遊び始めるうちに、緩やかな地縁や仲間が必要なのは乳幼児親子だけではないことに気づきました。

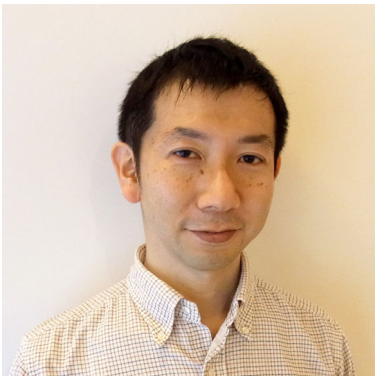
令和元年、地域で出逢った背景や年代の違う様々な同志と「誰もひとりぼっちにしない街」を目指し、まち普請にチャレンジ。整備対象となり2020年「コミュニティカフェ icocca」をオープン。誰もが自分らしく安心して暮らせる、一緒に育ちあえる仲間がいる街を目指しています。現在、NPO法人 icocca ひのみなみ副理事を務めており、高齢化率42%超の街で様々な人を巻き込みながら楽しく活動中。モットーは「ないなら創ろう・ないから創ろう」



●肥後 貴美子（ひご きみこ）
市民委員

武蔵野美術大学卒、グラフィックデザイナー。30歳を目前に「エコツーリズム」と出会ったことから、環境に携わる分野に進進。日本各地・フィジー諸島でのエコツーリズム開発やビジターセンター等の展示施設に関わりながら、自然やその土地の文化、そこに生きる人の魅力を伝えることに努めています。

東日本大震災後、自ら住む地域について何も知らないことを猛省し、地域でのエネルギーやコミュニティを考え、実践する市民活動を開始しました。コミュニティ農園での循環型農業や養蜂などを通じて、環境に負荷をかけずに豊かに暮らすヒントを模索しています。今ある地域の環境を次世代にどう残していけるか、仲間と一緒に考え、行動しています。



●松村 正治（まつむら まさはる）
NPO 法人よこはま里山研究所理事長

1999年から多摩丘陵の里山保全運動にかかわり、2005年から現在までNPO法人よこはま里山研究所(NORA)理事長。まちの近くで里山とかかわる暮らし、里山をいかす仕事づくりをすすめています。ほかに、NPO法人Life Lab Tama事務局長、NPO法人森づくりフォーラム理事など。

NPOでの市民協働や地元町会長の経験をもとに、神奈川県ボランティア活動推進基金審査会、横浜市市民協働推進委員会などの委員も務めてきました。

また、2020年に大学専任教員を退職後、独立研究者へ。専門は、環境社会学、公共社会学。調査フィールドは、多摩丘陵、八重山、五島・対馬ほか。大学では、フィールド・スタディやサービス・ラーニング等の経験学習プログラムも担当しました。現在は4つの大学の兼任講師、環境運動をテーマにしたオンライン講座のコーディネーターなども務めています。

3. まちづくりコーディネーター紹介

ヨコハマ市民まち普請事業では、提案の検討段階から、まちづくりの専門家「まちづくりコーディネーター」による伴走支援を行っています。まち普請事業の提案をブラッシュアップしていくためには、このコーディネーターはなくてはならない存在です。

今年度、支援に入ってくださっているまちづくりコーディネーターを紹介します。



●山路 清貴（やまじ きよたか）

これまでの伴走支援実績（まち普請）

まちまど・洋光台シェアベース実行委員会（磯子区）

HOMMOKU もくりプロジェクト実行委員会（中区） ほか

得意とする分野

地域福祉（高齢者・障がい者・子育て支援等） 防犯 水・緑・環境

歴史・文化・アート 空き家・空き地の利活用 商店街活性化

コミュニティの再生 地域の活動拠点運営 地域交通サポート事業

コーディネーターから、提案グループへひとこと

他にはない自分ならではの提案が出てくる事を期待しています。



●山本 耕平（やまもと こうへい）

これまでの伴走支援実績（まち普請）

地域開放型サロンを豊岡につくる会（鶴見区）

弘明寺リビングラボ（南区）

弘明寺チーム NECTA COLLECT（南区） ほか

得意とする分野

水・緑・環境

コミュニティの再生

コーディネーターから、提案グループへひとこと

まち普請のエネルギーは必ず地域の幸せにつながります。

4. ヨコハマ市民まち普請事業 令和7年度スケジュール

整備提案の募集 R7年2月12日(水)～R7年5月30日(金)



1次コンテスト R7年7月13日(日)

本日!!



2次コンテスト対象提案の決定

現地見学会(令和6年度整備箇所) R7年8月25日(月)午後



2次コンテスト対象提案 活動懇談会 R7年9月21日(日)



2次コンテスト対象提案 現地視察 R7年10月28日(火)



2次コンテスト R8年1月25日(日)

整備対象提案の決定!

5. (1) 令和7年度 1次コンテストプログラム

☆ 10時15分～10時40分

- 開会
- 応援企業の紹介
- 審査員の紹介
- コンテストの進行説明

☆ 10時40分～11時55分

- 整備提案の発表等（1グループあたり6分）

☆ 11時55分～12時15分

- 審査員による提案発表を踏まえたポイント整理

☆ 12時15分～13時20分

- 休憩

☆ 13時20分～16時15分

- まちづくりコーディネーターの紹介
- 審査方法の説明
- 公開議論・質疑
- 公開投票及び結果発表
- 講評

☆ 16時15分～16時40分

- 提案グループへの事務連絡、アンケート回答
- 交流タイム

☆ 16時40分

- 閉会

※当日の進行状況により、変更する場合がありますのでご了承ください。

5. (2) 1次コンテスト審査基準

1 創意工夫

- ・住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ

2 意欲

- ・自ら主体となって整備の推進に取り組む意欲
- ・グループメンバーが目的を共有したうえで、持てる力を出し合い、提案の精度を高める活動に取り組む意欲

3 公共性

- ・地域の課題やニーズの的確な把握、地域への貢献度
- ・活動を地域に開きながら、広げる又は深める姿勢

5. (3) 1次コンテストの投票方法・選考方法

1 投票方法

提案ごとに「2票」「1票」「0票」の3段階で評価します。

2次コンテストの対象として「特に推薦する」	2票
2次コンテストの対象として「推薦する」	1票
「今後の取組に期待したい」	0票

2 選考方法

- ・ 過半数の審査員から得票したものを 2次コンテストの対象提案として選考します。
- ・ 得票数が同点の場合は、投票した委員の多い提案が上位となります。

6. 令和7年度 1次提案一覧

発表 順	区	提案グループ名	整備提案名	ペ ー ジ
1次 免除	鶴見区	生麦事件参考館リユースプロジェクト (令和7年度1次免除案件)	歴史でつなぐ多文化共生・多世代交流のまちづくり	12
1	鶴見区	鶴見西口活性化委員会	誰でも安心して歩ける鶴見西口のまちしるべ	18
2	中区	桜通りをたのしくする会	関内桜通り「としょかん」＆「こうみんかん」の整備	24
3	神奈川区	空家を使った町ingプロジェクト委員会	空家を使った町ingプロジェクト	30
4	神奈川区	リエトモ倶楽部	横浜古民家活用「緑の家」プロジェクト	36
5	西区	横浜駅西口トリコロールリバース	横浜西口水辺空間の植栽整備	42
6	旭区	共感と挑戦が巡るまちの未来デザインチーム	希望が丘チャレンジベース ～まちのコンシェルジュ～	48

ヨコハマ市民まち普請事業

第1次提案書

注1) 3号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。

注2) 3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

注3) 添付資料は位置図、現況写真、活用イメージ図、その他資料、各A4版1ページ、余白15mm以上としてください。

提案グループ名 (25字以内)	生麦事件参考館リユースプロジェクト
グループ結成の 経緯・応募に至 った経緯	浅海武夫氏が私財を投じて創設した「生麦事件参考館」の再開館を目指し、昨年応募したが2次は不通過だった。メンバーで再挑戦の意思を確認し、今年3月からプロジェクトを再始動させた。様々な活動の中で地域の理解や関心も高まり、新たな協力者も増えてきた。参考館を交流拠点の一つとし、地域の発展に寄与したいという思いを具体的な形とするために応募した。
現在の主な活動 内容・活動実績	(1)事件関連の地を巡る散策 リレーさんぽ3回 (73名参加)、ガイド養成の事前勉強会 (2)参考館プレオープン 4月から8回実施 (209名来館)、館内外の整備 (3)その他 HP開設、資料データベース化、小中学校訪問 (3校)、講座・講演会開催 (3回)
提案場所	鶴見区 生麦1丁目
提案名 (25字以内)	歴史でつなぐ多文化共生・多世代交流のまちづくり
提案する施設の 概要 (80字以内)	参考館と母屋1階の破損箇所修繕と安全対策を行ない、単なる資料展示館ではなく、誰もが気軽に立ち寄り、交流できる地域の拠点とする。
具体的な整備内 容 (【ハード整 備】何を整備しま すか。)	(1)参考館 1階; 入口テラス、ポーチ、扉の整備、情報掲示板の設置 照明器具交換、壁面の修繕、ピックアップレール取付 2階; 階段の滑り止め、入口に取っ手取付、窓・照明・空調の改修、書庫、浅海記念コーナー設置 (2)母屋 1階; 台所の天井の修繕、照明・空調の改修 2階; 雨漏り防止 (3)前庭 所有者駐車場との仕切り設置、更地化 (花壇等撤去) 整備費用の概算額: 約500万円
活用イメージ (【ソフトの取組】 提案する施設でど のような活動を行 いますか。整備す る場所に触れて説 明してください。)	(1)参考館 1階; 展示の工夫 (企画展を開催し、テーマに応じた展示をする) 丁寧な解説 (説明員・説明ビデオ)、児童の作品や学習成果紹介、掲示板での地域情報、展示内容紹介 2階; 資料保管・検索、図書閲覧、創設者顕彰 (写真・新聞記事) (2)母屋 1階; スタッフ会議、作業・情報発信、地域交流・談話 (3)軒下・前庭 子どもワークショップ、ギャラリー、ひと休み・座談 (住民同士の交流)、語り部ボランティアと子どもたちの交流 (生麦の歴史、昔話、昔の遊びなどを語る会) 校外学習の説明場所、祭礼の休憩所⇒新しい“まちの辻”
提案の背景 (な ぜ提案をするの か、地域のニーズ や課題、生かした い地域の魅力等に 触れて説明してく	地域の小学校では生麦事件を題材とした総合学習が行われており、参考館再開により歴史への理解をさらに深めることが期待される。事件碑の建立や慰霊祭の実施、参考館の設立など事件の記憶を風化させないための努力と想いを、地域で大切に受け継ぐことで地域への愛着を醸成できる。 若い世代や転入者、外国籍住民の増加で地域社会の構成が多様化する中、誰もが参加しやすいイベントが盛んに行われている。若い商店主を中心とし

ださい)	た新しいまちづくりの動きは、地域で着実に進んでいる。 160年以上前に起きた生麦事件を通して、地域や文化を超えた人と人とのつながりの大切さが再認識されている。そうした背景を踏まえて、まちの魅力向上や住民同士のつながりの強化に参考館は寄与していく。
目指す地域の将来像（提案を実現することで、どのような地域にしたいと考えますか）	年齢・国籍・居住歴を問わず、多様な人々がつながり、支え合う「いつまでも住み続けたいまち」を目指す。そのために (1)子どもたちが主体的に学ぶ場を提供することで、地域の歴史や文化に誇りを持ち、次代のまちづくりを担う人材を育む。 (2)展示やSNSなどを通して生麦の歴史や魅力を発信し、他地域や世界とつながる「開かれた生麦」として発展することを目指す。
整備時の協働（つくるときに連携する仲間や活用する地域資源 ^{注4} ）に触れて説明してください	(1)所有者より無償で貸し出しを受けた建物と庭の修繕・改修を、地元の工務店に依頼する。掲示板の設置など、出来るところはDIYで行う。 (2)廃棄物・古書類の処理、建物周辺の清掃はプロジェクトメンバーと地域ボランティアで行う。作業に必要な道具は夫々が持ち寄る。
運営時の協働（運営するときに連携する仲間や活用する地域資源 ^{注4} ）に触れて説明してください	(1)参考館の運営・管理はプロジェクトメンバーと地域ボランティアが行う。地域のボランティア募集を既に始めている。（現在3名が参加予定） (2)必要な備品、消耗品などは積立金で購入し、地域からの提供も受ける。 (3)費用は入館料・販売（資料・土産品）・イベント参加費・協賛金で賄う。今後、クラウドファンディングなど他グループの事例を検討する。
その他提案について特にPRしたい点を記入してください。	(1)文化の違いを口実に紛争が絶えない今日。異文化との接し方を考えさせる生麦事件を語り継ぐことは重要で、参考館の果たす役割も大きくなる。 (2)参考館のプレオープン後、研究者・技術者など地域の人材に次々と出会った。また、定点ガイド・語り部ボランティア・館内ガイドなど、地域からは「何時から始めるか」という積極的な問い合わせが相次いでいる。

注4)「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。 ・地域に設計の専門家がいます。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。

整備場所の地権者等 ^{注5} への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
土地・建物所有者	生麦事件参考館を地域の皆さんの力で再開し、まち普請事業を活用して建物や所蔵資料をまちづくりに生かしてほしい。

注5) 土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者（会社や行政機関も含む）

次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

- ☒ 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- ☒ 第1次提案書（添付書類を含む）の内容に個人情報はありません。

添付資料1 位置図 ★=生麦事件参考館位置



■市全域（開港前の地形と古道）



（作成：山路商事株式会社）

■鶴見区中心部



（「つるみ生活・防災マップ」令和5年12月発行版 1/24,000）

■計画敷地周辺



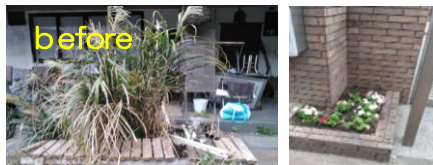
（「横浜市行政地図情報」背景図）

■軒下テラス



DIYで不用品を片付け、多目的利用スペースを確保

■前 庭



DIYで整備し、スペースとして活用するため更地化し、所有者駐車場との仕切り設置

■参考館2階

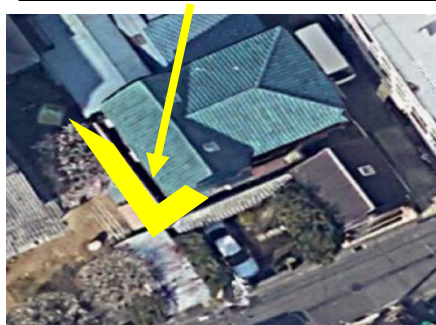
屋根裏の活用を検討



*天候次第で室内は暗くなる
*資料・書籍未整理

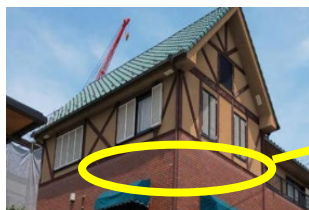
■航空写真

専門業者が水漏れを調査済み

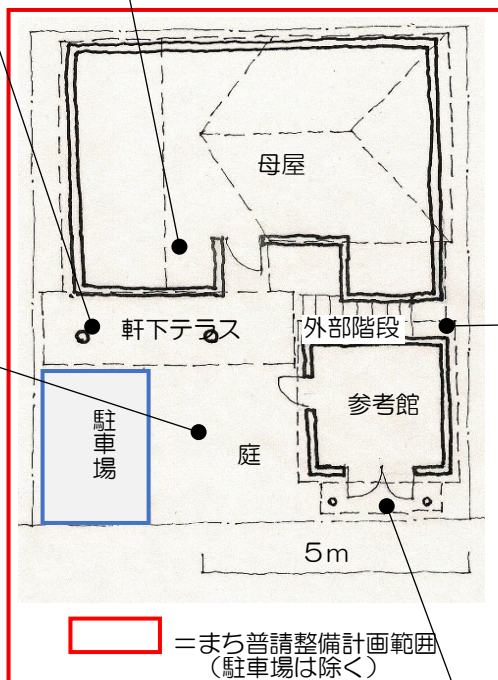


(Google マップ 2022)

■母屋 1 階（神田屋酒の記念館）*新たに使えるようになったエリア



*1 階の部屋はDIYで片付け中 男女トイレは使用可
*2 階のベランダに水が溜り、1 階台所の天井は漏水で大破損



■外部階段



雨天時は滑りやすく、2階入口の段差も大きい
⇒滑り止め、取手を付けるなどの対応必要

■参考館 1 階



*適切な照明に切替える必要
*安全な閲覧のため床の改修
*ピクチャーレールを新設し展示を見やすくする

■参考館入口



*入口テラスは腐食し、雨水は室内にも侵入 支柱は機能せず
*タイルの破損 段差 雨天・強風時に扉の開放が出来ず
*掲示板の必要（まちの情報・展示資料の紹介など）

活用イメージ図

事件の風化を防ぐため旧蹟碑を建て、小学校の校歌で生麦の海は世界の国とつながっていることを学び、毎年、追悼祭を続け、資料を集め参考館を開いた「生麦の人たちのところ」を受け継ぎ、老若男女が集い、世界と関わる郷土の歴史や文化を学び、交流する生麦事件参考館を、誰もが住みよい、訪れやすい、やさしく、活気のある街づくりの拠点にします。

2階 生麦事件関連書籍・資料閲覧
浅海武夫氏コーナー・資料保管

貯蔵書籍
約1000点

1階 発信・学び・伝承
貴重な資料で生麦事件を学ぶ
館内ガイド・説明ビデオ
常設展・企画展

母家1階 集い・交流
スタッフ会議・地域交流談話・トイレ
情報発信・資料整理・スタッフ控室

軒下テラス・前庭・まちの辻
イベント広場・地域交流・ひとやすみ
子どもワークショップ・体験コーナー

明るく見やすい展示

海外の研究者

参考館に行こう!

小学生の総合学習

観光タクシー

まちの情報掲示板

生麦語り部
【地元住民】

旧東海道・地域散策



生麦事件碑顕彰会



生麦事件発生現場

※オーナー駐車場

添付資料4 2次コンテスト以降の活動内容

1. 26(日) 令和6年度まち普請2次コンテスト

2. 9(日) 第1回リレーさんぽ 鶴見駅東口～生麦事件参考館 (29名参加)
* ガイド希望者事前学習会、コース下見 お土産付き (生麦銘菓)

. 14(金) プロジェクト会議 (生麦地区センター 18:00～)

. 24(月) 第2回リレーさんぽ 東神奈川駅東口～本覚寺 (22名参加)

. 25(火) 横浜市教育委員会訪問 プロジェクトについて相談

3. 2(日) 第3回リレーさんぽ 関内駅北口～外国人墓地 (22名参加)

. 6(木) 参考館リホームに向けた調査研究

. 21(金) プロジェクト会議 (生麦地域ケアプラザ 18:00～)

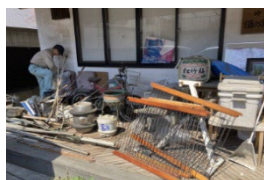
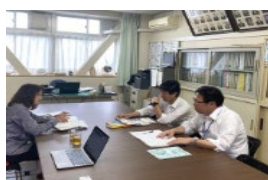
. 24(月) 令和会歴史講座「生麦事件」(講師 東寺尾地域ケアプラザ)

4. 2(水) プロジェクトの公式WebSite立ち上げとブログ開始

. 4(金) 参考館内外の片付け 資料のデータベース化作業

. 10(木) プロジェクト会議 (生麦地域ケアプラザ 18:00～)

. 16(水) 生麦・岸谷両小学校訪問 校長先生にご挨拶・懇談



- . 18(金) 参考館内外の片づけ 開館準備
. 19(土) 参考館プレオープン① 来館者 37人
協賛金等 4,200円 (募金箱で募る)
. 20(日) " " ② 8人



スタッフによる解説 軒下で始まる交流 (まちの辻) ※辻=人が集まる場所 自由な場

- . 25(金) 母屋周辺の鉄屑の搬出に立ち会う
. 26(土) 参考館プレオープン③ 来館者 33人 協賛金等 4,000円
. 27(日) " " ④ 32人 1,250円

5. 8(木) 事務局会議 (生麦地域ケアプラザ 18:00～)

- . 10(土) 鶴見歴史の会総会で記念講演 (鶴見神社 14:30～)
「生麦から世界へ 世界から見た生麦」(ケイタ☆ブラジル氏)
参考館プレオープン ⑤ 来館者 37人 協賛金等 4,200円

. 11(日) " " ⑥ 8人

. 15(木) 生麦中学校訪問 校長・副校長先生にご挨拶 地域連携について

- . 22(木) 事務局会議 (生麦地区センター 18:00～)

. 23(金) 母屋の水漏れ調査に立ち会う

- . 24(土) 参考館プレオープン ⑦ 来館者 45人 協賛金等 5,000円

鶴見見どころガイドの会ツアー 「鶴見線海芝浦と生麦事件を訪ねる」参考館に立ち寄る

- . 25(日) 参考館プレオープン ⑧ 来館者 17人 協賛金等 4,869円



ヨコハマ市民まち普請事業

第1次提案書

注1) 3号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。

注2) 3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

注3) 添付資料は位置図、現況写真、活用イメージ図、その他資料、各A4版1ページ、余白15mm以上としてください。

提案グループ名 (25字以内)	ツルミニシグチカッセイカイインカイ 鶴見西口活性化委員会
グループ結成の 経緯・応募に至 った経緯	鶴見西口エリアでは横浜市初の豊岡小学校複合施設の誕生を控える一方で、地域内の道案内が不十分であるという課題がある。自治会、商店街、学校関係者、西口協議会などが連携して課題解決に取り組むため応募に至った。
現在の主な活動 内容・活動実績	「つるみ愛」を合言葉に、西口エリア活性化のために「つるみ愛フェスティバル」を定期的に開催。過去には子ども達向けのアートフェスティバルを実施するなど、地域の子どもの中心に世代を超えた交流の場を創出。現在も鶴見西口駅前広場の地域イベントなどを中心とした活動を行っている。
提案場所	鶴見区鶴見駅西口、豊岡地区
提案名 (25字以内)	誰でも安心して歩ける鶴見西口のまちしるべ
提案する施設の 概要 (80字以内)	まちしるべ (①道やまちの案内板、②駅前の大きなまちの看板、③デジタルサイネージ) の設置
具体的な整備内 容 (【ハード整備】 何を整備します か。)	1) 道やまちの案内板の設置 ・町内会の既存の掲示板に、案内 (道の愛称やQRコード) などを記載した看板を追加 (51箇所予定) 2) 駅前の大きなまちの看板の設置 ・鶴見西口エリア全体が一目で分かるような、わかりやすいデザインの看板を駅前に設置 (3箇所予定) 3) デジタルサイネージの設置 ・商業施設前 (フーガ2) にデジタルサイネージを設置し、わかりやすいまちの地図や、商業施設の紹介、イベントの告知などを表示 (1箇所予定) ※全項目に共通の工夫 防災情報の明示、多言語表記、視覚障害者向けの音声案内機能 (QRコード) <u>整備費用の概算額：約 500 万円</u>
活用イメージ (【ソフトの取組】 提案する施設でど のような活動を行 いますか。整備す る場所に触れて説 明してください。)	QRコードのリンク先である鶴見特化型情報サイト「これつるweb」を通じて、小学校との連携による地域発見ラリーの実施や、地域イベントの周知、地域の歴史や文化を楽しみながら学ぶ機会の提供など、地域とのつながりを深める多様な取り組みに繋げていく。
提案の背景 (な ぜ提案をするの か、地域のニーズ や課題、生かした い地域の魅力等に	大本山總持寺や県立三ツ池公園などの観光施設に加え、学校、病院、医療機関が多く、広域からの来街者が多いのが特徴だが、案内板が少ないため道に迷う人が多く、近隣小学校の先生や来街者など様々な方から道がわかりにくい現状を指摘されている。今後は豊岡小学校の複合施設化に伴い、さらに来街者が増えることが予想されることから、西口地域の活性化には、人の移動

触れて説明してください)	に配慮した道路・地理情報の掲示が不可欠。また、市内で二番目に外国籍住民が多い鶴見の特性を踏まえ、多言語対応の防災情報掲示は喫緊の課題である。さらに子ども達を中心とした地域での道の愛称設定は、地域の一体感を醸成し、まちの魅力向上や活性化にもつながることが期待できる。
目指す地域の将来像（提案を実現することで、どのような地域にしたいと考えますか）	JR鶴見駅周辺と西口エリアは、見やすいまちしるべ（案内板、デジタルサイネージ）設置により、観光客も訪れやすいまちへと変わり、近隣の商店街の活性化も期待できる。また、この地域に住む多国籍の人も安全・安心に移動できる地域へと変わる。今回設置するまちしるべにより、地域住民や子ども達、そして国際色豊かな来街者達が鶴見のイベント情報や、歴史・文化を知り、地域への愛着を持ってもらうことで、さらに活気のあるまちを目指す。
<u>整備時の協働</u> （つくるときに連携する仲間や活用する地域資源注4）に触れて説明してください）	- 案内板、掲示板の設置場所については、掲示板を管理する町内会、商店街、ビル管理者、西口協議会と協議して決めていく。 - 地図の作成については、地元小中高等学校、大学、地域メディアなどと協力して進める。 - 案内板の製作については、地域の専門業者に依頼して進める。
<u>運営時の共同</u> （運営するときに連携する仲間や活用する地域資源注4）に触れて説明してください）	- 整備した掲示板、案内板の維持管理は町内会、商店街、西口協議会をはじめとする関係団体が協働して行う。 - QRコードによる地域情報の提供は地域メディア「これつるweb」と協働して行う。 - 障害者向けの案内、システムの導入については地元大学と協働して行う。
その他提案について特にPRしたい点を記入してください。	町内会、商店街、学校、地域企業、社会福祉協議会、青少年指導員など多様な地域団体のメンバーが連携しながら活動している。この活動を進めていくうちに、実際に地域の小学生が総合学習の一環で道の愛称を考え始めるなど、現段階でも既に子ども達の間にも、鶴見への愛着が芽生え始めている。このプロジェクトが進むにつれ地域愛がさらに高まり、地域が活性化していくことを確信している。

注4)「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- | | | |
|---------|-------------------------|-----------------------|
| ○「ヒト」の例 | ・地域のPTAから協力を受けられそう。 | ・地域に設計の専門家がいる。 |
| ○「モノ」の例 | ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 | ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。 |
| ○「カネ」の例 | ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 | ・バザーなどで資金を集められそう。 |

整備場所の地権者等注5)への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
鶴見区 区政推進課、鶴見区 土木事務所、鶴見駅西口協議会、フーガ2 管理組合	まち普請に応募することを、承諾しており、1次通過が具体的になった時、再度調整交渉をする。

注5) 土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者（会社や行政機関も含む）

次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

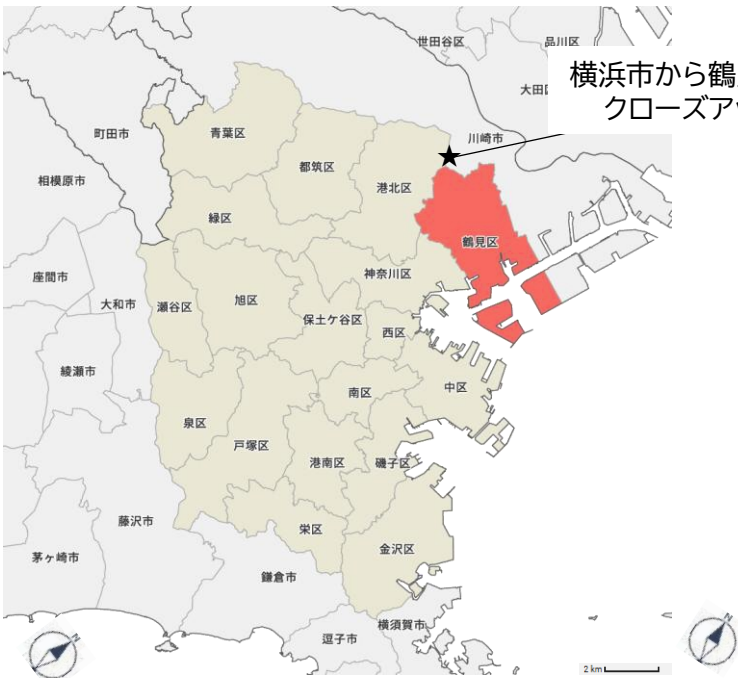
☑記載内容は真実であり、虚偽はありません。

☑第1次提案書（添付書類を含む）の内容に個人情報はありません。

位置図(マクロ)

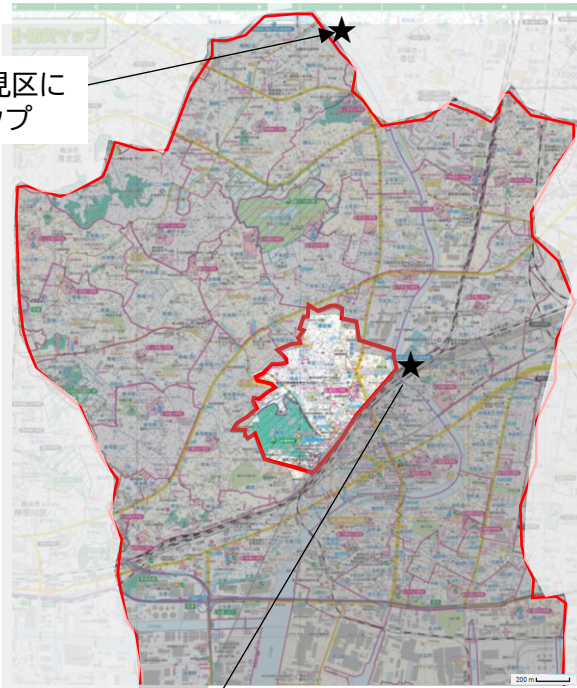
横浜市鶴見区から鶴見西口エリアにクローズアップする。

横浜市鶴見区



マップ・イット・商用利用可

鶴見区、鶴見西口エリア



つるみ 生活・防災マップ

豊岡地区連合会

鶴見西口駅前
(西口協議会、豊岡第一町内会、
豊岡商店街)
豊岡2丁目(豊岡第二町会)
豊岡3丁目
(豊岡第三町会、豊岡小学校)
佃野町(佃野町内会)
諏訪坂(諏訪坂自治会)
寺谷1・2丁目(寺谷自治会)
鶴見2丁目(総持寺)

横浜市内初
複合化する
豊岡小学校

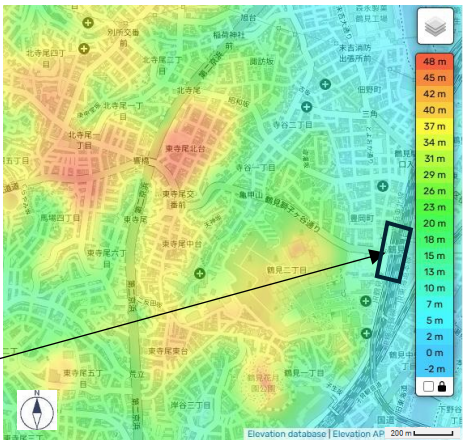


鶴見西口エリア
をクローズアップ

豊岡地区自治会連合



豊岡地区あいマップ



インタラクティブマップ

鶴見西口エリアは丘陵地域で
発展が遅れる原因の一つという説

現況写真と配置図

豊岡地区自治会連合
エリアマップ



< 現況写真 >



豊岡(7地区)
町内掲示板 51台

豊岡地区あいマップ
(豊岡地区連合会平成26年度活動)
防災マップを作ってみました。
あなたの避難場所は決めていますか？
実際に歩いてみて、げけの近くや狭い路地など
危険な場所も確認し、書き込んでおきましょう。

いっとき避難場所
地域防災拠点
広域避難場所

● 掲示板の
場所51か所

JR鶴見駅西口 エリアマップ

現在のフーガ2施設 3F玄関口
(商業施設)



< 現況写真 >



フーガ2施設 3Fオープンデッキ 玄関口
※デジタルサイネージ設置



Google map

豊岡(7地区) 町内掲示板 51台



< 現況写真 >



現在のフーガ2施設 3F玄関口

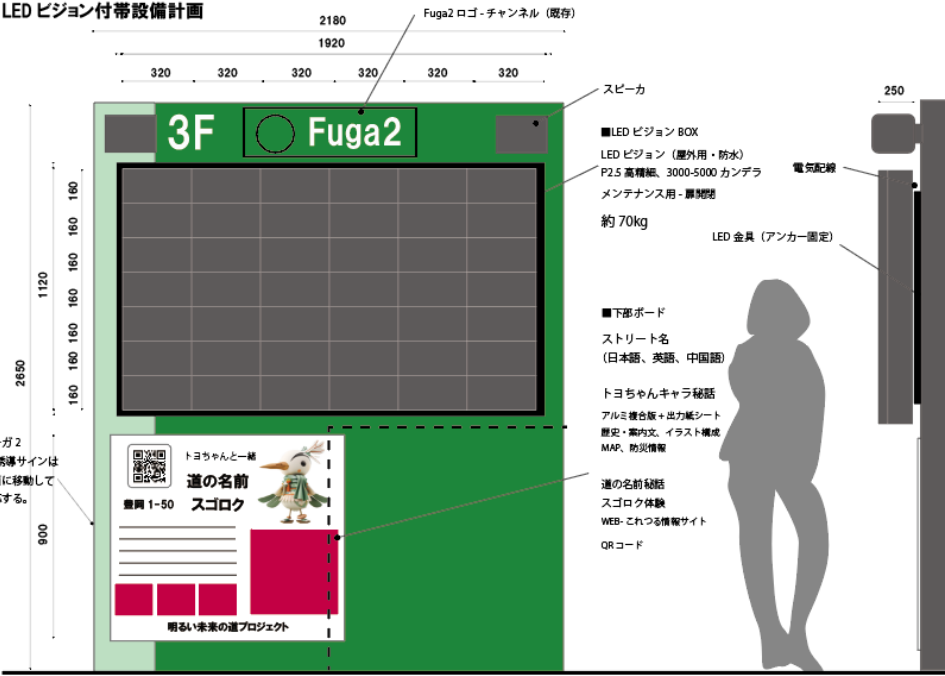


< 現況写真 >

看板掲載情報

- 1) 道の愛称
- 2) 歴史・文化記事
- 3) トヨちゃんイラスト
- 4) QRコード
- 5) 町名・スゴロク番号
- 6) カラーリング、視覚障害者対応
- 7) イラスト・写真
- 8) 多言語（日本語、英語、中国語）

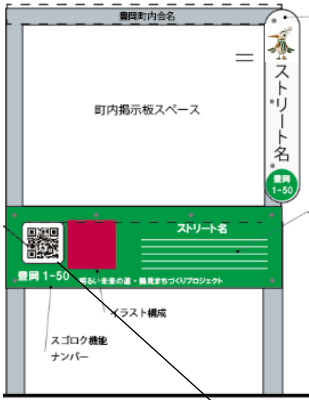
Fuga2 施設 -3F 玄関口



デジタルサイネージ 掲載情報

- 1) 街普請情報
- 2) 横浜市・鶴見区情報
- 3) 施設案内情報

設備の活用事例（まちの魅力）



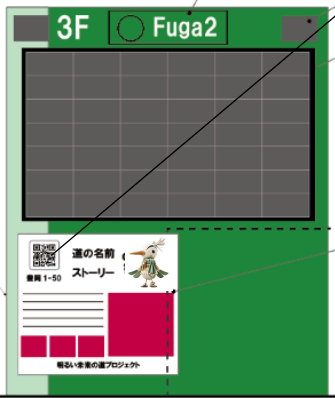
まちしるべに掲載された
QRコードを活用
まちの魅力を
楽しく再発見！



< POINT >

多様な人々に対応する

- 1) まち歩き
- 2) イベント



事業の目的

この度のまち普請応募で、「まちしるべ」を作り、地域を活性化させる機会にする
鶴見西口エリアの多様な人々のニーズに寄り添い、愛着や誇りを共に育む

横浜鶴見を舞台にしたNHK朝ドラ「ちむどんどん」テーマ：多様性とシビックプライドより引用

鶴見区特化型ポータルサイト
これつる ～日日是つるみ～



<https://www.koretsuru263.com/>

「これつる」内の
特設ページヘリンク



多種多様なコンテンツ

< 特設ページ掲載情報 >

掲出番号によるQRコードでスゴロク
ストーリーを作る。楽しく巡る「まちの魅
力（道の愛称、文化、歴史等）を楽しく
再発見させる多彩なコンテンツ！

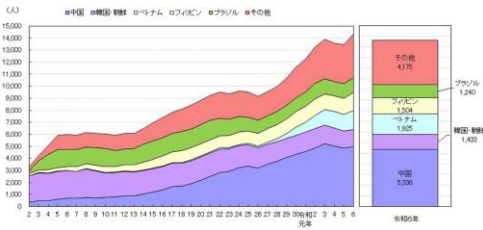


費用が無い中での
コンテンツ開発

地元の多くの子どもから
大学までの共創が必要不可欠



鶴見区内の国籍別外国人住民数の推移



全体15.4%（中国5.3%、その他4.1%）
令和6年3月31日現在の鶴見区の外国人居住者15,613人これは中区に続いて市内
2番目の多さとなっています。

ヨコハマ市民まち普請事業

第1次提案書

注1) 3号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。

注2) 3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

注3) 添付資料は位置図、現況写真、活用イメージ図、その他資料、各A4版1ページ、余白15mm以上としてください。

提案グループ名 (25字以内)	桜通りをたのしくする会
グループ結成の 経緯・応募に至 った経緯	整備場所（泰生ポーチ・フロント）においての市民活動等が盛んになる一方で、当事者たちのなかから地域に対して、入りやすさ、“より”ひらかれる場への底上げを行うことが大事だと対話があり、整備、組織化を検討し応募に至りました。
現在の主な活動 内容・活動実績	・各地域団体の代表および参加者による対話、イメージ共有 ・「さくら通りOPEN!」等による協働活動（個人および団体） ・本整備に対してのグループミーティング
提案場所	中区 相生町・2丁目
提案名 (25字以内)	関内桜通り「としょかん」＆「こうみんかん」の整備
提案する施設の 概要（80字以内）	地域のメンバーが、目的がなくても自由に訪れ、過ごせる「としょかん」「こうみんかん」機能を備えた施設を、より地域にひらかれることを目指し運営する。
具体的な整備内 容（【ハード整備】 何を整備します か。）	① 劣化した内装、器具、収納等再整備（オープンスペース） ② キッチンの縮小およびカウンター再整備（窓口・カウンター） ③ 開口部再構築（広い開口部） ④ 書架等の構築（本棚・展示棚スペース） ⑤ 一定時間滞留できる小上がり等の敷設（小上がり・居場所） 整備費用の概算額：約500万円
活用イメージ （【ソフトの取組】 提案する施設でど のような活動を行 いますか。整備す る場所に触れて説 明してください。）	既存利用団体（シニアカフェ、町内会、通り会、民児協、地区社協、地域食堂、クリエイター活動、防災会議等）が継続して活動を行いつつ、再整備によってさらに受け入れ機能を広げる。 ① 「オープンスペース」空間を再整備、0歳児から児童・生徒、学生、シニアなど属性や所属を選ばない活動、滞留等に対応。 ② 「窓口・カウンター」を再整備。入りづらさを人的に解消する仕組みを備える。コンシェルジュ的機能の設置。 ③ 「広い開口部」ベビーカー、車椅子等誰もが気軽に出入りできる。 ④ 「本棚・展示棚スペース」地域から全国のクリエイター等まで集め、作品等維持管理。「みんとしょ」機能を整備し、棚オーナー制度を設置。近隣ギャラリーのサテライト機能も持つ。 ⑤ 「小上がり・居場所」小さいこども等が滞留しやすいようにする。子連れの大人が少しリラックスできる。中高校生も滞留自習を行いやすいような場としても整える。 上記の整備をおこない、すでにイベント等で開いている道路を「ひろば」として定義、インクルーシブな拠点とする。
提案の背景（な	泰生ポーチ・フロントは、7年前にオーナーと民間事業者3社の手により

ぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください)	「それぞれが連携しつつ発信する拠点」として、関内に来る市民や住民へと開いてきました。コロナ禍や社会変化等、2社に減った運営法人の状況を見て関係者と地域から“もっと有意義な活動の拠点を”という対話が2年前から始まりました。 関内地域は、今後も来街者の増加、タワーマンション整備計画等で人流がさらに複雑化します。そのなかで、公共空間の整備を待つのではなく、私たちの手でつくろうという思いがあり、通りや現在拠点「フロント」内の事業で協働しているメンバー等が集まり“閉じかけているイメージ”を問い直し、これからの関内へ“ひらく”場を考えました（公共空間から公共的空間へ）。
目指す地域の将来像（提案を実現することで、どのような地域にしたいと考えますか）	関内桜通りは、行政等が管理把握しきれないレベルの人流がありますが、今回の整備がそれらのすきまを埋めた市民運営の公共的空間づくりであると考えます。 特に、道路空間も「ひろば」と置くことで、様々な属性の人々をやわらかく受け止める空間と場が整備され、目的を強く持たずとも、気軽に來ることができ、“より”ひらかれる場への底上げを行います。すでに集積されているコンテンツもより広く提供することで、無目的に來ても目的意識や関わりやすさが自然に増え、愛着や親しみが地域により広がることが期待されます。
<u>整備時</u>の協働（つくるときに連携する仲間や活用する地域資源^{注4}）に触れて説明してください)	「ヒト」関内地域団体（町内会、通り会、社協等住民）、関内地域クリエイター、事業者（本申請メンバー所属事業者） 「モノ」現在の拠点「フロント」内の什器設備を活かし、無理なく整備を行う 「カネ」つながりある国内、市域拠点に広報協力を仰ぎ、協定にもある「Readyfor」クラウドファンディング等による資金調達を行う
<u>運営時</u>の協働（運営するときに連携する仲間や活用する地域資源^{注4}）に触れて説明してください)	「ヒト」関内地域団体、関内に集う学生、拠点を持つ近隣の事業者（本申請メンバーに加え、それ以外の事業者） 「コト」すでに蓄積されている事業が、今回のモノ整備により、より発展的に動くことができる 「カネ」みんとしよ事業、利用団体使用料、地域外から集まるファンづくり、メンバーによるセミナーの事業による収益を見込む
その他提案について特にPRしたい点を記入してください。	時間帯により地域の子連れとシニア、場を求める中高校生、学びや対話を希望する住民・来街者、全体をフォローする学生がターゲットになり、関内地域の特徴と可能性を多分に活かした多機能拠点が見込まれます。

注4)「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- | | | |
|---------|-------------------------|-----------------------|
| ○「ヒト」の例 | ・地域のPTAから協力を受けられそう。 | ・地域に設計の専門家がいます。 |
| ○「モノ」の例 | ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 | ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。 |
| ○「カネ」の例 | ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 | ・バザーなどで資金を集められそう。 |

整備場所の地権者等 ^{注5} への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
物件所有者	応募について賛成、提案グループに参加

注5) 土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者（会社や行政機関も含む）

次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

- ☒ 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- ☒ 第1次提案書（添付書類を含む）の内容に個人情報はありません。

関内では様々な事業者やクリエイターがまちの活動に関わり、組織間での連携を行なっています。そういったまち全体での活動の中心となる拠点が必要とされています。地域拠点となり、地域住民に対して窓口のように開かれている場が必要と考えます。



A photograph of the entrance to the 'CASA' building. The entrance features a wooden door with a small sign above it that reads 'CASA'. The building is surrounded by trees and foliage, and the entrance is partially covered by a yellow awning.

A photograph of a modern kitchen interior. The kitchen features a long, light-colored wooden countertop with a built-in sink and a stainless steel faucet. Below the countertop, there are stainless steel cabinets and drawers. A large window at the end of the kitchen provides a view of a city street with buildings and trees. The ceiling is made of exposed brick, and there are several round pendant lights hanging from it. The overall atmosphere is warm and contemporary.

A photograph of a restaurant interior. A long wooden table runs down the center, with white chairs on one side and grey chairs on the other. A large chandelier hangs from the ceiling. The walls are covered in a patterned wallpaper. A menu board is visible on the wall to the right.

A photograph showing the interior of a traditional Chinese restaurant. The room features dark wooden tables and chairs. A large, colorful mural is painted on the wall, depicting a scene with figures. A chandelier hangs from the ceiling, and a large window or doorway is visible in the background, letting in natural light.

Figure 1: First Floor Plan (Scale 1/100). The plan shows a long, narrow layout with a service counter on the left, a staircase, restrooms, and a large dining area with various table and chair arrangements. Dimensions are provided for the overall space and specific sections. A north arrow is located in the top right corner.

活用イメージ図

関内桜通り「としょかん」&「こうみんかん」の整備

当該施設

オーニングで軒先のイメージUP!

行ってみよう!

窓口・カウンターができて
声をかけやすくなったよ!

小さい子どもも
ころころできるよ!

ギャラリーができて、
入るきっかけになった!

隣のギャラリーと
連携した取り組みへ!

本棚屋台は広場にも
飛び出します!

連携した取り組みも開催!

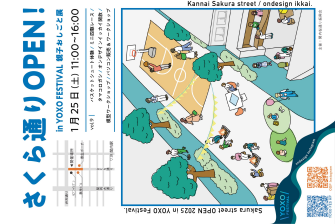
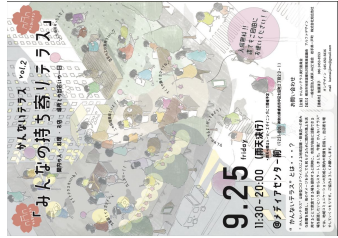
■ その他資料 前面の桜通りとの連携による路上活用



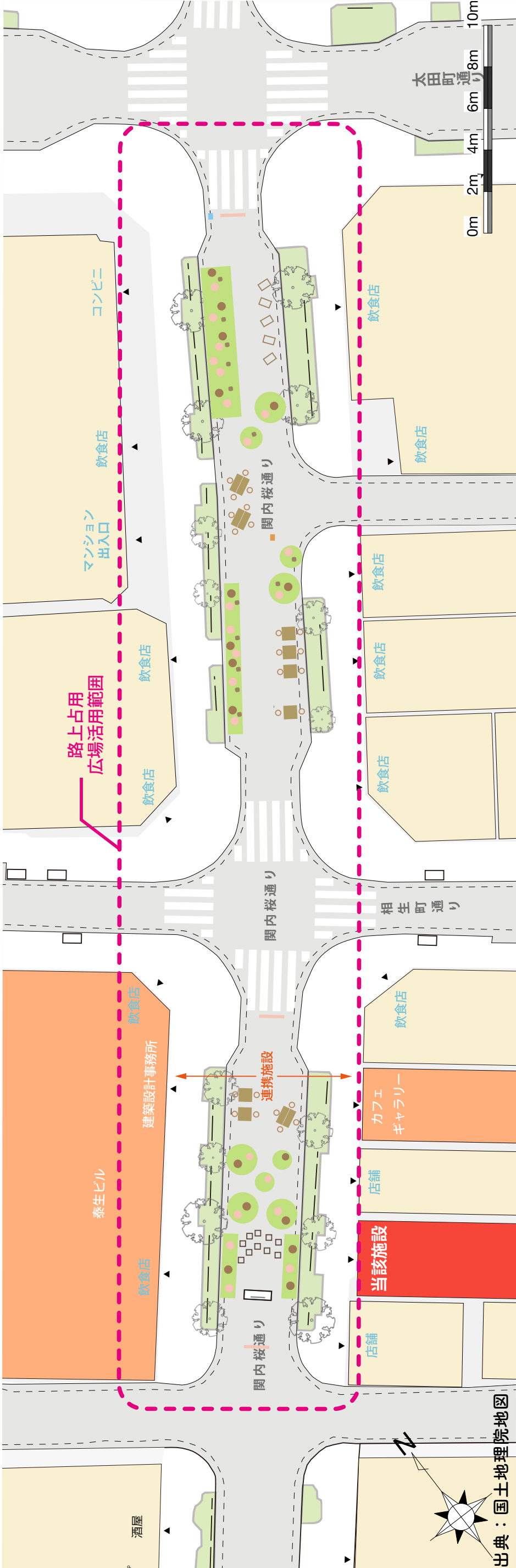
「関内外OPEN！」
関内地域クリエイターが
中心となり開催しています。
桜通りや周辺施設と連携し、
地域住民とまちぐるみで交流。



「かんないテラス」
関内の事業者や店舗、
まちづくり組織が中心と
なって開催しています。
地域イベントとも連携。



その他にも前面の桜通りの路上を活用した催しを
多く実施しています。



出典：国土地理院地図

ヨコハマ市民まち普請事業

第1次提案書

注1）3号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。

注2）3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

注3）添付資料は位置図、現況写真、活用イメージ図、その他資料、各A4版1ページ、余白15mm以上としてください。

提案グループ名 (25字以内)	空家を使った町ingプロジェクト委員会
グループ結成の経緯・応募に至った経緯	横浜市のNPO法人 日本建物再生支援機構として、3年間、権利関係の複雑な空家や相続後の放置空家、築40年を超える老朽建築物の再生等に取り組んできた。これまでの活動を通じて、建物に関する様々なお困りごとに悩む声に耳を傾けてきた中で、増え続ける空家問題と真摯に向き合う必要性をより強く感じ、まずは目の前の課題解決に取組み、事業を行い、住み暮らし入江地域の活性化に寄与したいという思いから、より多くの空家再生を実現したく応募しました。
現在の主な活動内容・活動実績	建物総合コンサルティング・空家再生・ビル再生 メンバーに建物コンサルタント、建築士、再生プランナー、宅地建物取引士がおり、日常的に建物に関わっています。
提案場所	神奈川 区 入江 1丁目
提案名 (25字以内)	空家を使った町ingプロジェクト
提案する施設の概要 (80字以内)	空家を改装して、町に住む人のコミュニティやお店、文化教室、介護サービスなど、町の魅力を体験できるスペースにする。
具体的な整備内容 （【ハード整備】何を整備しますか。）	外構・庭部の整備 ・フェンス撤去及び雑草除去、ウッドデッキを施した交流縁側などのコミュニケーションスペースを確保 1階部のリノベーション ・壁を取り除きオープンな交流リビング、可変式ダイニングを確保 2階部のリフォーム ・劣化部の補修、整体等の施術室、ネイル等の個室サロンとして使えるプライベートスペースを確保 整備費用の概算額：約500万円
活用イメージ （【ソフトの取組】提案する施設でどのような活動を行いますか。整備する場所に触れて説明してください。）	空家を、町の未来に繋げるための資産として活用する事業を、構想します。 空家を改修するとともにそこに、町の魅力を一次体験できるような、コンテンツを展開します。例えば、町に住んでいる人のコミュニティ、町にある店舗や町で展開されているサービス、町にある文化教室や、町の介護サービスなど。 不動産担当者が案内し住む場所を決める、従来の移住者と不動産のマッチングではなく、そこに住んでみたい人と町をマッチングするために空家を活用する、移住する人のための町体験型ゲストハウス改修プロジェクト。それが「空家町ingプロジェクト」です。
提案の背景（なぜ提案をするのか、	神奈川区は市平均と比べて空家が多く、高齢化、人口減少など、町には空家が増えています。そこに新しい家が建ち、新しい人がその家を気にいつ

地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください)	て誰か住めばまだ良いかもしれませんが、空家のまま放置されたり、そこが空地となり町並みのみならず、町のコミュニティも歯抜けになってしまう現状があります。 空家をそうした町の負の遺産にしてしまうのではなく、そこを町の魅力のショールームとする。そうすることで、町のコミュニティをより色濃くするとともに、そこに住みたいという方を呼び込み、かつより町に参加したいという自発性を持って町に入ってもらうための入り口、地域の価値を高める活動の拠点とし、そのプロセスや成果に共感いただける近隣住民が関わり結果的に新しい人の流れが生まれる構造をつくる。そんな町の未来に対して有益な資産にする可能性を考える。
目指す地域の将来像（提案を実現することで、どのような地域にしたいと考えますか）	空家を町の人々が、ともに町の資産として捉える地域の未来。 地域の魅力やコミュニティが、空家を介してより色濃く回復される未来。
整備時の協働（つくるときに連携する仲間や活用する地域資源注4）に触れて説明してください)	地域コミュニティを守りたい人々、地域で店舗経営をされている方々や、地域ビジネスをされている方々、地域不動産事業者様、地域の工務店と連携、近隣住民を中心に有志の方を募り内装工事のDIYを行う。
運営時の協働（運営するときに連携する仲間や活用する地域資源注4）に触れて説明してください)	これまでのNPO法人での活動で出会った方、地域コミュニティを守りたい人々、地域で店舗経営をされている方々や、地域ビジネスをされている方々、地域不動産事業者様等、地元の商店会、入江・子安・大口エリアで技術、サービスや商品を提供いただける地元企業、個人の協力を得て、経済活動、シニア、主婦の方や学生にも雇用の機会を創出しながら運営していきたい。滞在中の記録を発信し、地域・取組みに共感いただけるファンを増やす。
その他提案について特にPRしたい点を記入してください。	近年、顔の見える町を実現する難しさは増しており、この地域において空家の増加は深刻な課題となっています。しかし、私たちは空家を有効活用することで、地域住民の交流を促進し、活気あるコミュニティを創出できる可能性を秘めていると考えています。空家を活用した地域活性化プロジェクトの実施は、再び顔の見える町を実現するために重要な取り組みです

注4)「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。 ・地域に設計の専門家がいます。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。

整備場所の地権者等注5)への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
建物所有者	1次コンテストに応募することについて説明済。詳細は、コンテスト通過後に検討。

注5) 土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者（会社や行政機関も含む）

次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

- ☒ 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- ☒ 第1次提案書（添付書類を含む）の内容に個人情報はありません。

現況写真



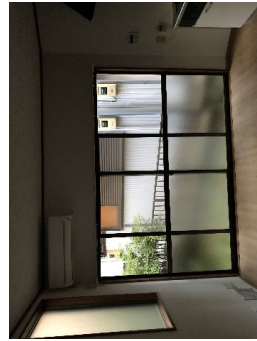
建物外観



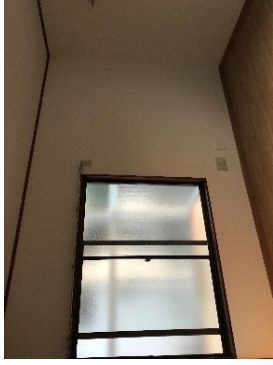
2階北西側洋室①



2階南東側洋室①



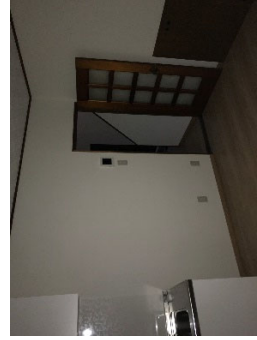
リビング



2階北西側洋室②



2階南東側洋室②



リビング出入口



トイレ

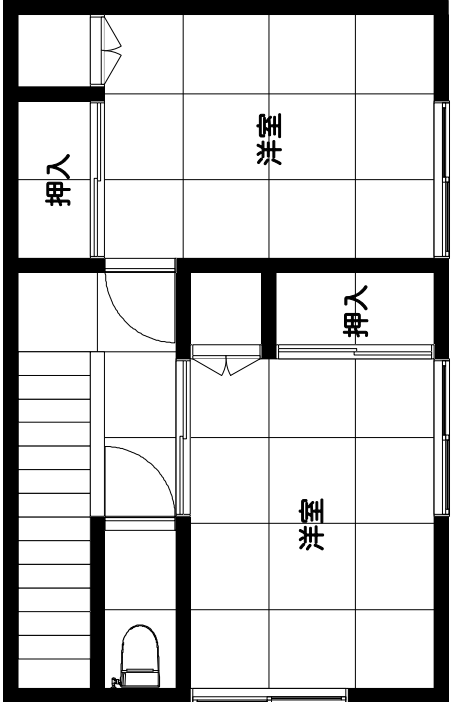


1階リビング収納



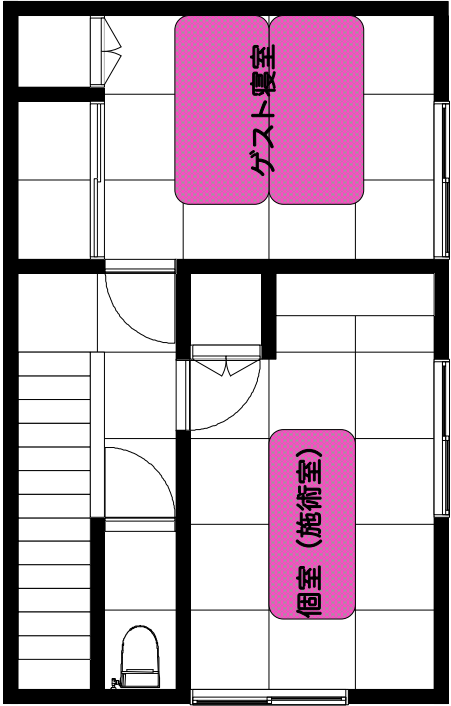
1階 和室

改修前



2F

改修後



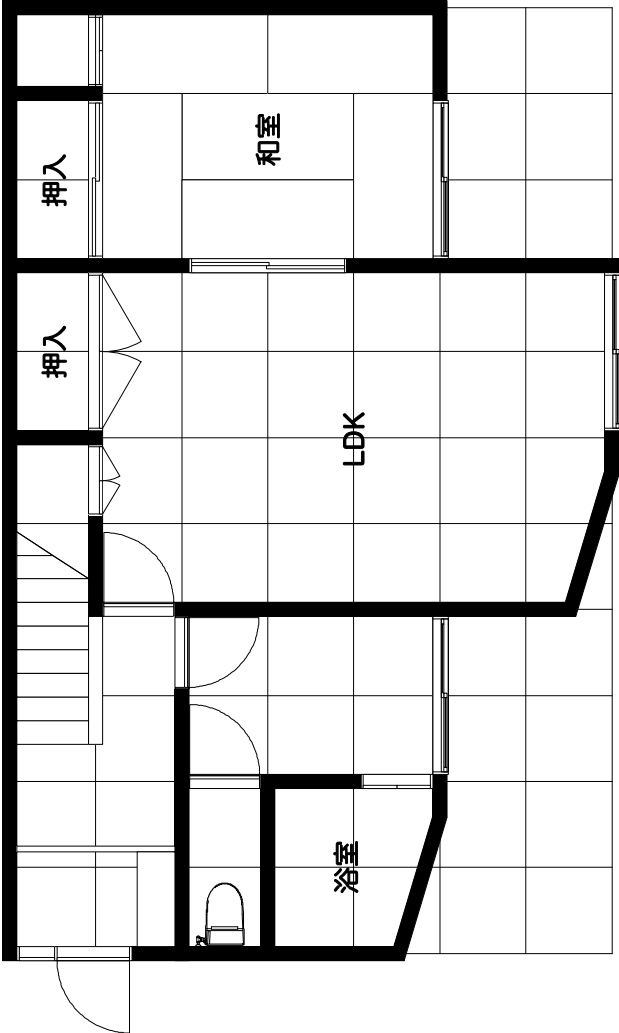
泊まることもでき、
街に仮住まいする
ことができる。

泊まることもでき、
街に仮住まいする
ことができる。

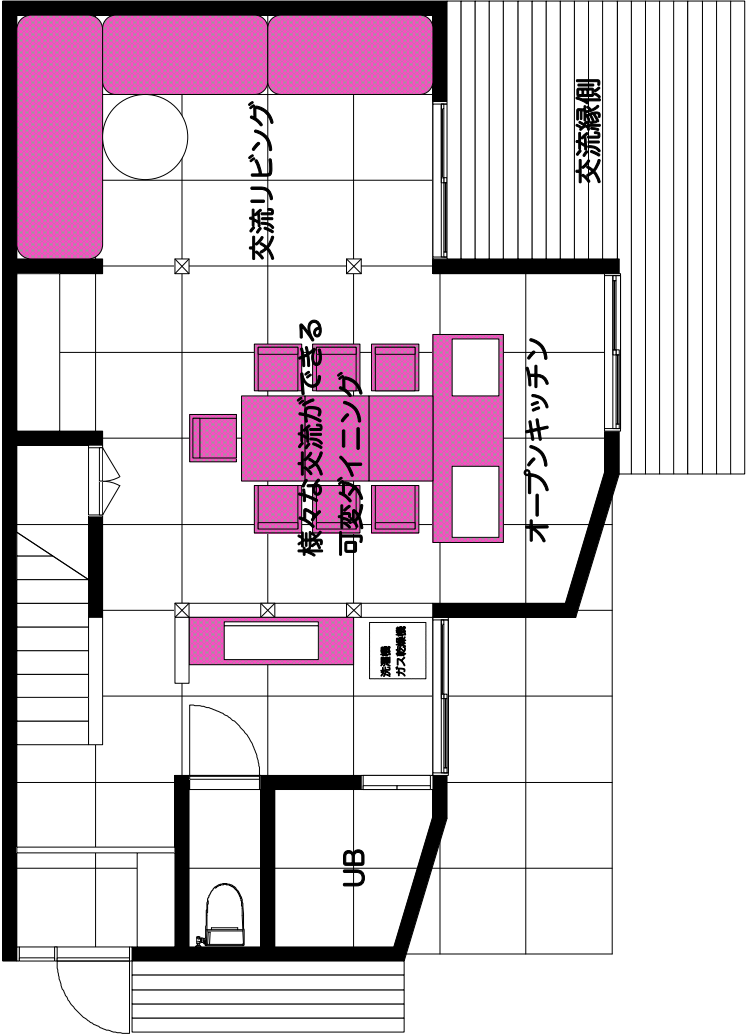
2F

街に開けた
オープンな玄関

街の楽しい情報がわかる
情報ライブラリー



1F



1F

ヨコハマ市民まち普請事業

第1次提案書

注1) 3号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。

注2) 3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

注3) 添付資料は位置図、現況写真、活用イメージ図、その他資料、各A4版1ページ、余白15mm以上としてください。

提案グループ名 (25字以内)	リエトモ倶楽部
グループ結成の 経緯・応募に至 った経緯	自分の住む町を、人に優しい町にしたい、共働き家庭を地域で支えたい、という思いから応募しました。この想いに共感してくれる、働きたいと考えている主婦や障がいのある方、高齢者の方が集まり、みんなで協力すれば実現できると感じました。空き家になる予定の古民家を地域の拠点として活用し、世代や立場を超えて支え合える場所をつくりたいと考えています。
現在の主な活動 内容・活動実績	自宅でお母さん向けの食のイベントを行っています。また、子供たちを集め、夏休みや春休みには宿題をみたり、一人っ子が多く、スマホ依存になりがちな子供たちが、子供同士で遊べるように、ランプやボードゲームを取り入れるなど、保護者不在でも安心して過ごせるお預かりも行っています。横浜の水源地である道志村の農業体験やサバイバル活動にも参加しています。田植え、味噌・うどん・蒟蒻・梅干し作りなどを通して、普段スーパーで買っている食べ物がどのように作られているかをお母さん・子供たちと一緒に学んでいます。
提案場所	神奈川区旭ヶ丘
提案名 (25字以内)	横浜古民家活用「緑の家」プロジェクト
提案する施設の 概要（80字以内）	子供たちの遊び場や地域の方々と交流できる場所として提供します。おやつや食事を提供したいと考えております。
具体的な整備内 容（【ハード整備】 何を整備します か。）	窓ガラスの交換、床（フローリング）の張替え、畳の張替え、台所の整備、トイレの整備、風呂場の改築、庭の整備、ベランダの整備、外壁塗装 整備費用の概算額：約500万円
活 用 イ メ ー ジ （【ソフトの取組】 提案する施設でど のような活動を行 いますか。整備す る場所に触れて説 明してください。）	畳の部屋を残し、昭和の木のぬくもりのある家を和文化を知らない子供たちに日本の暮らしや先人の知恵を伝える場として活用します。心のこもった食事を皆で囲み、食を通じた交流を大切にしたいと考えています。台所は共同で作業ができる作りにして、子供たちが料理に参加できるようにします。また、寒さや暑さを感じる暮らしを通して、生活の工夫やエコな生活を学ぶ場を提供します。庭を整備して、どろんこ遊びをしたり、四季の移り変わりを感じてもらい、テレビやスマホがなくても、豊かに過ごせる時間があることを伝えたいと考えています。

提案の背景（なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください）	旭ヶ丘を起因として共働きの子育て世帯と高齢者世帯が混在するこの地域では、地域のつながりが希薄化しており、世代を超えて支え合える仕組みづくりが求められています。 そうした中、地域に空き家となる予定の古民家があり、これを活用することで、子育て世帯や高齢者など様々なひとが安心して交流できる場をつくることができました。
目指す地域の将来像（提案を実現することで、どのような地域にしたいと考えますか）	人との関わり合いを通して、子供たちには一人では生きていないこと、一人ではないことを知って欲しいと思っています。また、食の楽しみや大切さを感じて、生きることを楽しむ力を育んでほしいと願っています。 子供を地域全体で育て、お母さんや高齢者をみんなで支え合い、誰もが楽しく暮らせる町を目指したいと思います。将来的には、みんなが明るく楽しく暮らせる社会を作りたいです。
<u>整備時</u>の協働（つくるときに連携する仲間や活用する地域資源^{注4}）に触れて説明してください）	横浜の中小企業経営者のネットワークを活かして、物資や資金の支援を募ります。 建築家の専門家から助言を受け、DIYなどでできる部分は、地域に住む保護者など住民の力を借りて行います。
<u>運営時</u>の協働（運営するときに連携する仲間や活用する地域資源^{注4}）に触れて説明してください）	地域のお母さんや障がいのある方、高齢者など地域の方と連携しながら、維持管理と運営をしていきます。
その他提案について特にPRしたい点を記入してください。	地域に頼る人がいなくて困っている人や悩んでいる人を助けたいです。この取り組みを成功させ、地域の人を元気にして、空き家になっている古民家を蘇らせたいです。空き家活用に困っている家主や地主の相談にのれるようにしたいです。

注4)「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。 ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。

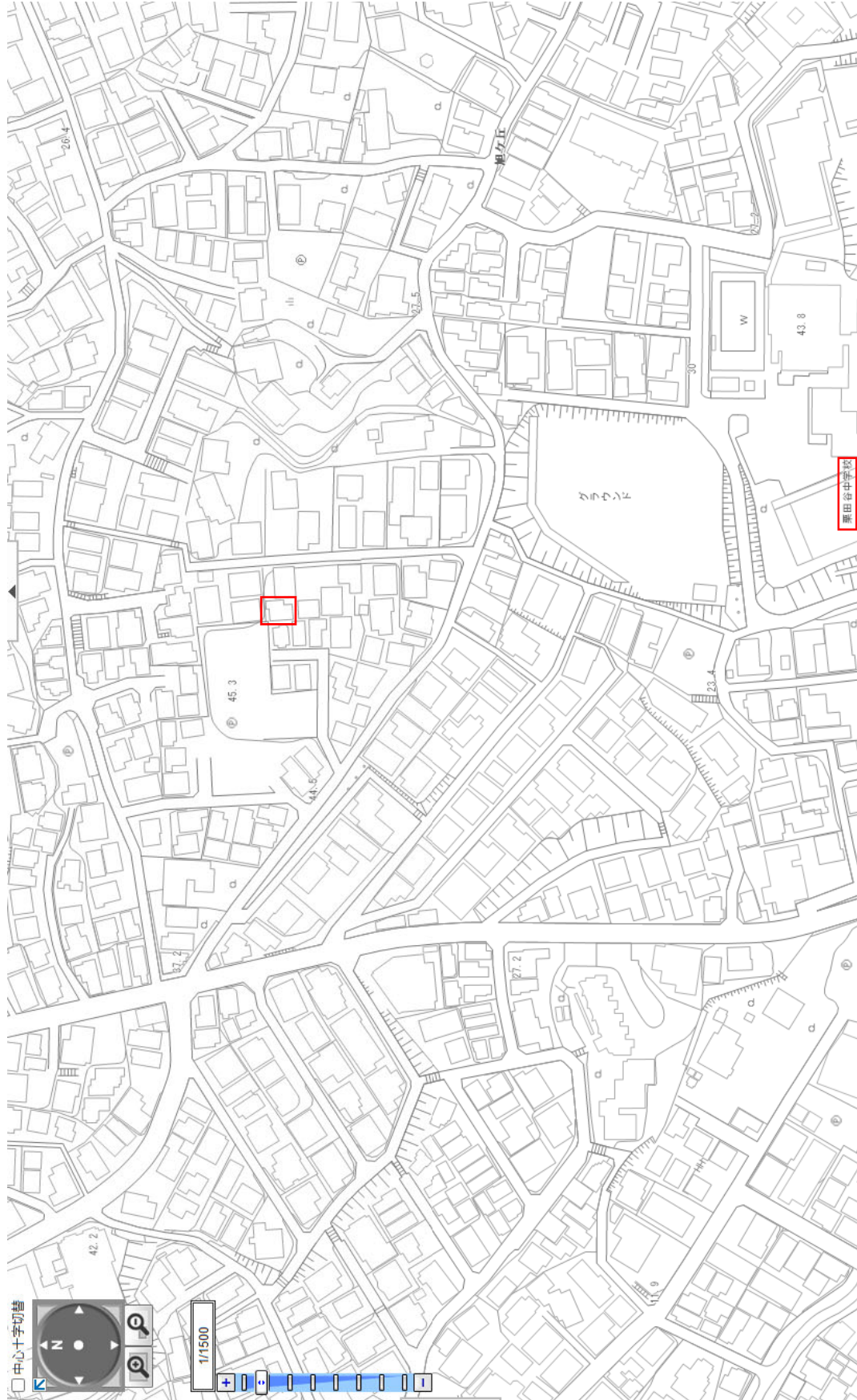
整備場所の地権者等 ^{注5)} への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
整備場所の地権者	親族で保有する土地なので、合意を得られました。

注5) 土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者（会社や行政機関も含む）

次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

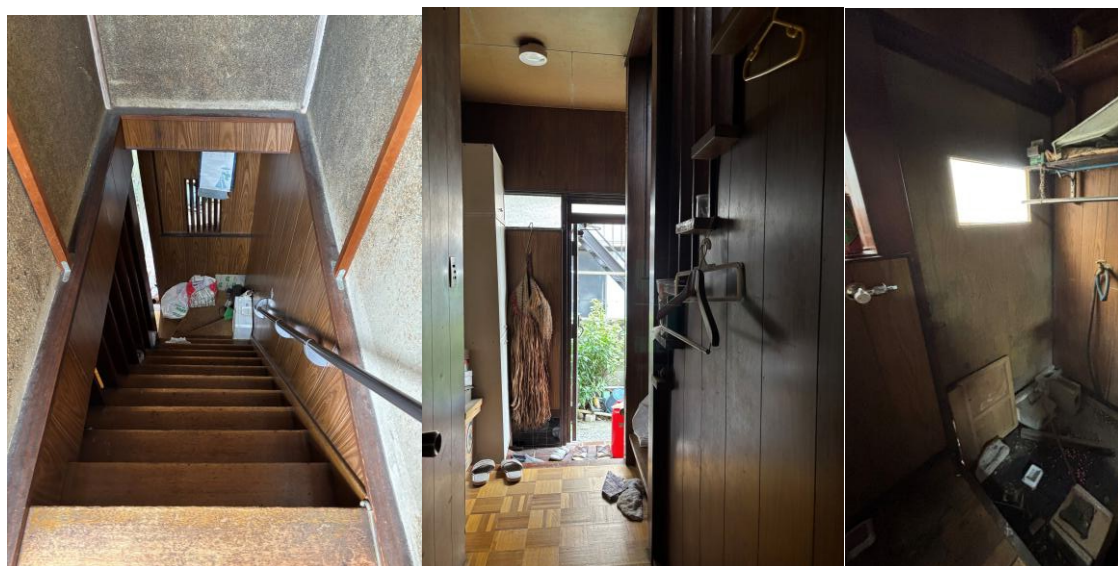
- ☒ 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- ☒ 第1次提案書（添付書類を含む）の内容に個人情報はありません。

【位置図】 住所：神奈川県旭ヶ丘 25-5



出典：横浜市 i マップ

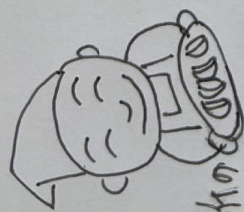
現状写真



昭和の古民家

活用イメージ図

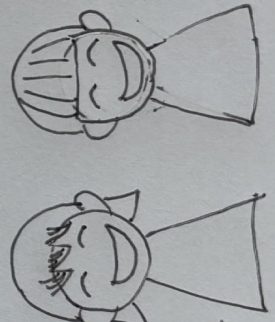
木のぬくもりある空間



近所の
お兄ちゃんTくん
ご飯作るよ!

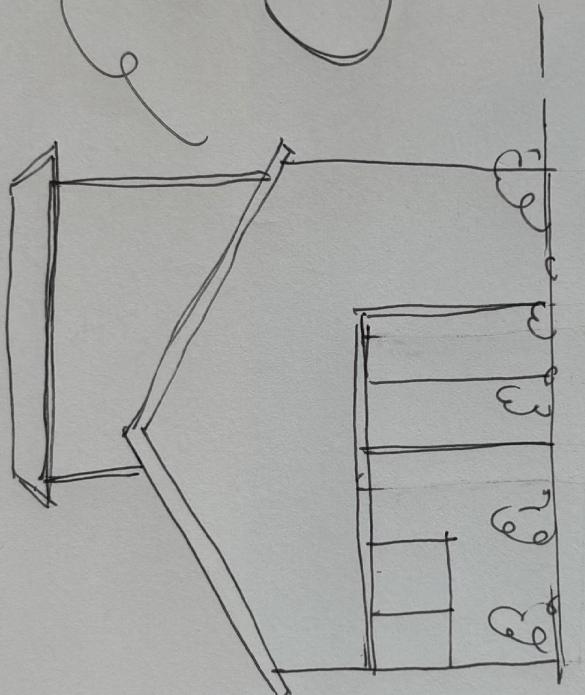


ママ友 Eさん
勉強見せてあげよう!



洗っものは..
私ができるよ!

肩おみするよ!



地域の交流

横の

おじいちゃんKさん
植木の手入れをしますよ!

とまりの



おばちゃん Rさん
おそりじは、一緒に
手伝ってね!

★ 横浜型 新しい家族のカタチ

◎ お父さんとお母さんのいない時も安心して
過ごせる場所

◎ お父さんとお母さんが帰って来たら..
一緒にごはんを食べられる場所

ヨコハマ市民まち普請事業

第1次提案書

注1）3号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。

注2）3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

注3）添付資料は位置図、現況写真、活用イメージ図、その他資料、各A4版1ページ、余白15mm以上としてください。

提案グループ名 (25字以内)	横浜駅西口トリコロールリバー
グループ結成の 経緯・応募に至 った経緯	横浜駅西口の西区南幸エリアにおいて、商店会並びに当該地域の活性化に向けて取り組み、ビブレ前広場を活用したイベントを開催しております。新型コロナウイルス感染症の沈静化に伴い、当該エリアにも人の流れが回復しつつありますが、その一方でゴミのポイ捨て等の課題も増えています。 こうした問題の解決に向けて、横浜市へ陳情要望を出した直後に、幸川沿いの人通りが少ない場所で殺人事件が発生する等、地域の安心が多く揺らいでいます。 当該事件が発生した南幸の幸川沿いには、堤防に沿って散歩ができるスペースがありますが、手入れが十分に行き届いていない状況です。そこで、ここを「遊歩道」として整備し、地域の安全性と魅力を高めるプロジェクトを立ち上げることにしました。
現在の主な活動 内容・活動実績	今回の遊歩道整備を行うグループとしての活動実績はありませんが、その母体となる組織は、地域活性化を目的に立ち上げた商店会や自治会・企業等の連合組織です。令和6年度には、地域コミュニティ形成を目的とした「餅つき大会」の開催、街区のパトロール、地域の緑化事業などを実施しており、地域とのつながりを深める取り組みを継続的に行っています。
提案場所	西区南幸2丁目
提案名 (25字以内)	横浜西口水辺空間の植栽整備
提案する施設の 概要（80字以内）	西区南幸2丁目の幸川沿いの水辺スペースを整備し、陽光桜を主体とした植栽並びにベンチ等の整備を行う。
具体的な整備内 容【ハード整備】 何を整備します か。）	①陽光桜を主軸に植栽を行うほか、季節ごとの花壇も整備します。 ②人々が川の流れを眺めながらゆったりと過ごせるよう、寄りかかり式のベンチや休憩用のイスを複数設置します。 整備費用の概算額：約800万円
活用イメージ 【ソフトの取組】 提案する施設で どのような活動 を行いますか。整 備する場所に 触れて説明し てください。）	整備後は、商店街・自治会・周辺企業・関係機関（横浜西口マネジメント協議会など）とともに、緑化維持に取り組むとともに、子どもたちに総合学習などの環境教育の実践の場として活用してもらえることを期待しています。

提案の背景（なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください）	繁華街から一步足を踏み入れると、薄暗く、やや雑然とした印象を受ける現状は、このエリアの持つ潜在的な魅力を十分に引き出せていません。 そこで、市民や来街者が心安らぎ、くつろげる「潤いと憩いの場」へと再生することを目的としています。 特に、近年長期化する夏の暑さにおいて、少しでも涼やかで心地よい空間を提供することは、地域全体の魅力向上に不可欠であると考えます。 川沿いの陽光桜と四季折々の植栽による景観改善を図るとともに、川を望む休憩スペースを設置し、人々が川の流れを眺めながらゆったりと過ごせるよう環境を整備します。
目指す地域の将来像（提案を実現することで、どのような地域にしたいと考えますか）	この水辺空間を、市民や来街者が心安らぎ、くつろげる「潤いと憩いの場」へと再生し、地域コミュニティの核となる場所として育てていきたいと思います。
整備時の協働（つくるときに連携する仲間や活用する地域資源 ^{注4} ）に触れて説明してください）	既に横浜駅西口商店会連合会や一般社団法人横浜西口マネジメント協議会と連携し、地域の活性化や緑化整備、イメージアップに向けた取り組みを進めています。これまでに培ってきた地域・行政等との連携・協働体制や蓄積されたノウハウを活用して進めていきます。
運営時の協働（運営するときに連携する仲間や活用する地域資源 ^{注4} ）に触れて説明してください）	運営時は商店街・自治会等と協働して実施します。 また、商店街の各店舗・関係団体との連携を積極的に行い、補助金に依存しすぎることなく、自主・自律の水辺空間の維持管理に努めます。
その他提案について特にPRしたい点を記入してください。	商店街、地域住民、来街者等とともに地域課題解決と、県下屈指の商業集積で横浜駅西口至近に潤いと憩いの場を創出する新たな取り組みと言えます。 さらに、令和7年度中にURの集合住宅がオープンすることからこうした場の創出ニーズは高まると思われます。

注4）「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。 ・地域に設計の専門家がいます。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。

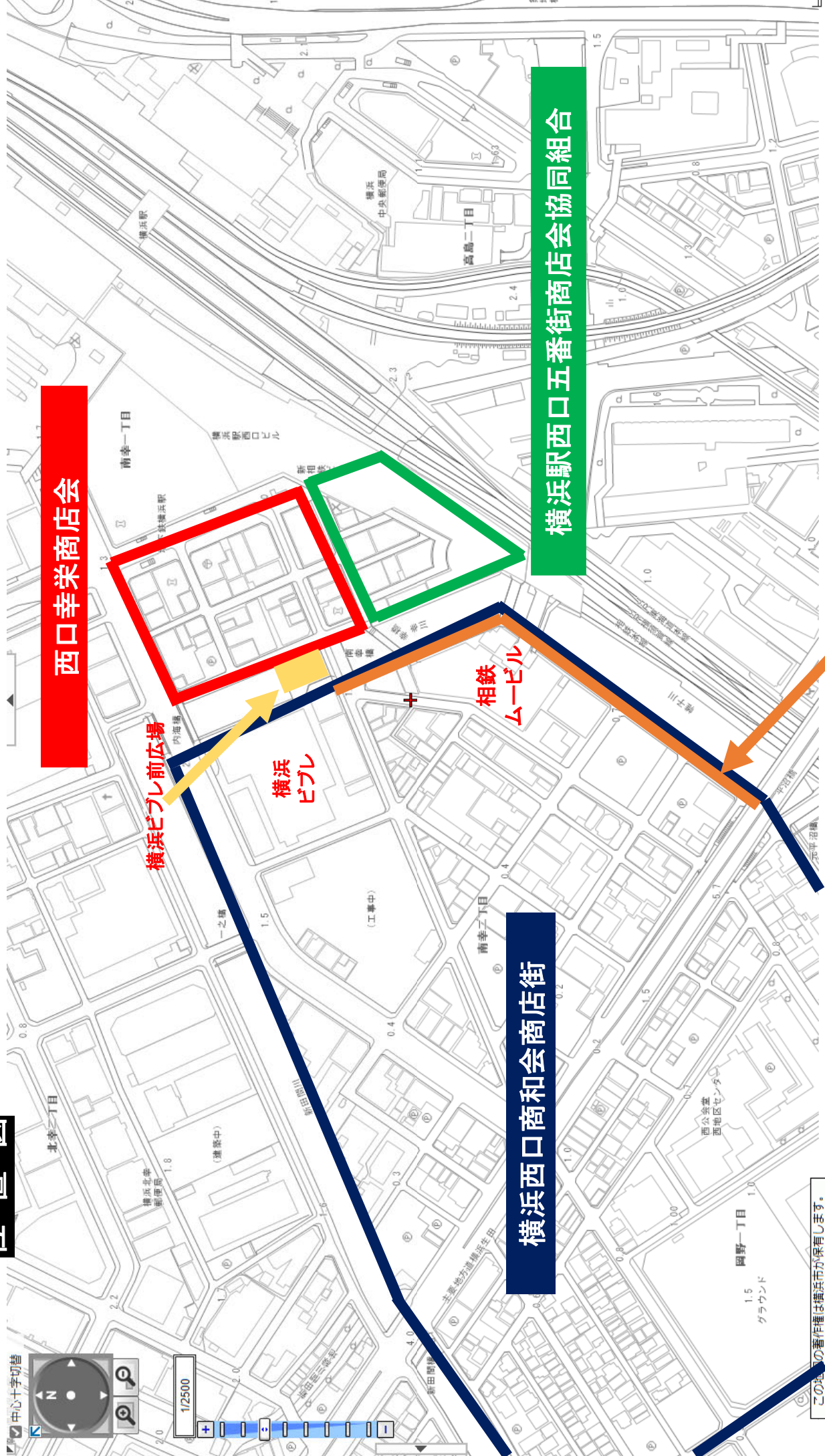
整備場所の地権者等 ^{注5} への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
横浜西土木事務所	川辺の整備について内諾を得ております

注5）土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者（会社や行政機関も含む）

次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

- ☒ 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- ☒ 第1次提案書（添付書類を含む）の内容に個人情報はありません。

位置図



出典:横浜市iマップー

整備する水辺（川辺）エリア

現況写真

今回の水辺の整備事業に本格的に取り組むことになった令和6年に発生した殺人事件発生現場付近の写真

①付近の写真

【昼の様子】



※メイン通りから外れると昼間でも人通りが少なくなる

【夜の様子】



※夜になるとメイン通りは飲食店等に向かう
方々でにぎわうが、当該通りは人通りが少ない

②付近写真



活用イメージ図

幸川沿いの水辺に 陽光桜を植栽し、周辺を植栽した花壇を整備します。



イメージ図

現況



イメージ図

現況

また、幸川の水辺でゆったり過ごせるようなベンチや花壇を整備します。



ベンチ (イメージ図)



花壇 (イメージ図)

ヨコハマ市民まち普請事業

第1次提案書

注1）3号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。

注2）3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

注3）添付資料は位置図、現況写真、活用イメージ図、その他資料、各A4版1ページ、余白15mm以上としてください。

提案グループ名 (25字以内)	共感と挑戦が巡るまちの未来デザインチーム
グループ結成の 経緯・応募に至 った経緯	高齢化、孤立化、シャッター街化が進む希望が丘に、にぎわいを取り戻そうと、若者や高齢者、地域住民、店主らが集まりグループを結成。夢と希望を語り合い、住民同士のつながりを育み、住み続けたいまちの未来に向かって挑戦できる場を作るため、まち普請へ応募を決めた。
現在の主な活動 内容・活動実績	希望が丘が好きな人々が集まり、長年まちづくりの話し合いの場を持ち続けてきた。さらにこの1年は、地域住民が自身の「好き」や得意を持ち寄る交流会を開催し、参加者同士の共感や支え合いの輪を広げてきた。
提案場所	横浜市旭区中希望が丘101のビル1階
提案名 (25字以内)	希望が丘チャレンジベース ～まちのコンシェルジュ～
提案する施設の 概要（80字以内）	希望ヶ丘駅徒歩1分、商店街入口に位置する商用ビル1階のスケルトン空き店舗。住宅地に続く道路に面しているため、まちのにぎわいを創出する場となり得る。
具体的な整備内 容（【ハード整備】 何を整備します か。）	120㎡の四角い空き店舗をカフェ機能があるコミュニティスペースに改装。厨房設備やトイレを整備し、壁には本棚を設置。広い空間は可動式の間仕切壁で多用途に対応可能とする。床や壁、シャッター、ファサードのデザイン・施工は、建築系や美術系の学生と地域住民が参加するワークショップ形式で実施。 <u>整備費用の概算額：約 800 万円</u>
活用イメージ （【ソフトの取組】 提案する施設でど のような活動を行 いますか。整備す る場所に触れて説 明してください。）	商店街入口に位置する空き店舗を、駅近の好立地を活かした多目的交流拠点とする。可動式の間仕切りで空間を柔軟に使い分け、カフェスペースやワークショップルームを設け、地産地消の無農薬野菜マルシェや手作り作品の販売、地元ミュージシャンによるライブ、商店街とのコラボイベント等を定期開催。年齢を問わず誰もがチャレンジできる場として、住民同士や外部来訪者との交流を促進。また、建築・美術系学生と地域住民が参加するリノベーションワークショップを実施し、整備の過程自体を交流や学びの活動の一環とする。参加者のスキルを活かせる場、リノベーションから生まれる新たなつながりと価値を創造する場とする。既存の子どもの居場所ネットワークとも連携し、子どもたちが気軽に集まれる寺子屋の運営。商店街の空き店舗を改装して宿泊施設にする「街じゅうホテル」は、本拠点にフロント機能を持たせ、宿泊とまち歩き体験、地元の人との交流ができるインバウンド向けの企画も視野に入れる。2027年の横浜国際園芸博覧会（GREEN×EXP02027）では、来場者や関係者の宿泊先としても活用し、ローカルSDGs発信拠点とする。まちのコンシェルジュとして人と人をつなげる地域情報を発信。困りごとを抱える人と、手伝いたい人をつなぐマッチングの仕組みをつくり、地域のスキルや「好き」を活かした多彩な活動の場を提供。住民自らが夢を形にし、ワクワクする挑戦が生まれるま

	ち、そこから雇用も生み出せるまちを目指す。※活動詳細は添付資料参照
提案の背景（なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください）	高度成長期に整備された希望が丘地区は、近年高齢化が進み、まちの活力が低下し、子育て世代は共働きが増え、近隣小学校ではPTAが廃止され、自治会・子ども会の加入率は減少し、人と人とのつながりが希薄になりつつある。一方で、相鉄線直通運転によりその利便性から若い世帯が増えてきており、子どもの数は増加している。毎年開催している商店街主催の「キボフェス」には約1万人が訪れるなど、まちのポテンシャルは大きい。大型商業施設もない希望が丘だからこそ、人と人とのつながりを求める人も多く、ミュージシャンやアーティストなど多彩なスキルを持ち、活躍の場を求める人も多いなど、ニーズとシーズが十分にあると言える。
目指す地域の将来像（提案を実現することで、どのような地域にしたいと考えますか）	子どもも大人も高齢者も誰もが自分が望む未来へ向かって一歩踏み出すことができ、チャレンジすることでなりたい自分になれる社会。自分にできることで誰かの役に立てるような支え合いが生まれる社会。チャレンジベースの創造により、住民のつながりを生み、夢を形にする場ができ、「夢と希望があふれるまち」「住みたいまち」「選ばれるまち」を目指す。
整備時の協働（つくるときに連携する仲間や活用する地域資源 ^{注4} ）に触れて説明してください	・希望が丘が大好きで、自分たちの手で住みたいまちを創りたいと思っている意欲のある人が多い。 ・建築関係の繋がりが多数あり、テナント工事やリノベーション経験が豊富。横浜出身の一級建築士がいる。 ・コミュニティづくりを長年やっている経験豊富なメンバーがいる。 ・希望が丘に工務店の繋がりがあり、安価で協力を得られる。 ・意欲のある建築系の大学生の協力が得られる。 ・トリックアートなど特別なスキルを持ったアーティストの協力が可能。 ・物件の賃貸契約のめどが立っている
運営時の協働（運営するときに連携する仲間や活用する地域資源 ^{注4} ）に触れて説明してください	・地元で場づくりの運営をしているNPO法人のノウハウがある。 ・ワークショップの開催実績が多数あり、専門家を講師に呼びやすい（一定のネットワークがある） ・飲食店を経営するメンバーがいて、運営アドバイスがもらえる。 ・カフェの運営者仲間がいる。 ・建築会社から協賛金（広告収入）を受け、運営費の一部を賄える。 ・SNS配信用の動画撮影、編集、配信の専門家がいる。
その他提案について特にPRしたい点を記入してください。	【活動に賛同し、協力してくれる団体】 ・TONKAN：全国12ヶ所で各地の学生と共に地域活性化コミュニティを運営。物件探し～施工まで学生が行う ・職欲（ジョブヨク）：地域活性化に向けて、全国各地で、社会人と学生のワークショップを開催中。過去14年間・累計300回、1万人以上の学生・大学教授・社会人が参加。

注4）「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- | | | |
|---------|-------------------------|-----------------------|
| ○「ヒト」の例 | ・地域のPTAから協力を受けられそう。 | ・地域に設計の専門家がいる。 |
| ○「モノ」の例 | ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 | ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。 |
| ○「カネ」の例 | ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 | ・バザーなどで資金を集められそう。 |

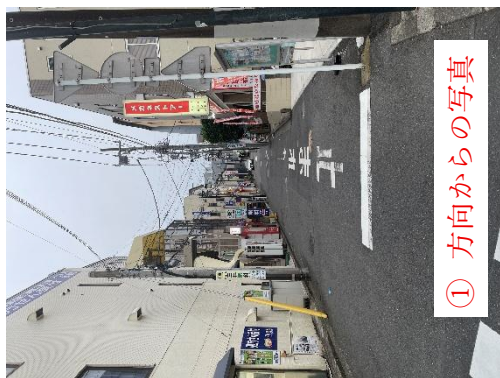
整備場所の地権者等 ^{注5} への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
建物所有者	カフェ機能などの用途説明済み。利用方法については、了解を頂いている

注5）土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者（会社や行政機関も含む）

次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

- ☒ 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- ☒ 第1次提案書（添付書類を含む）の内容に個人情報はありません。

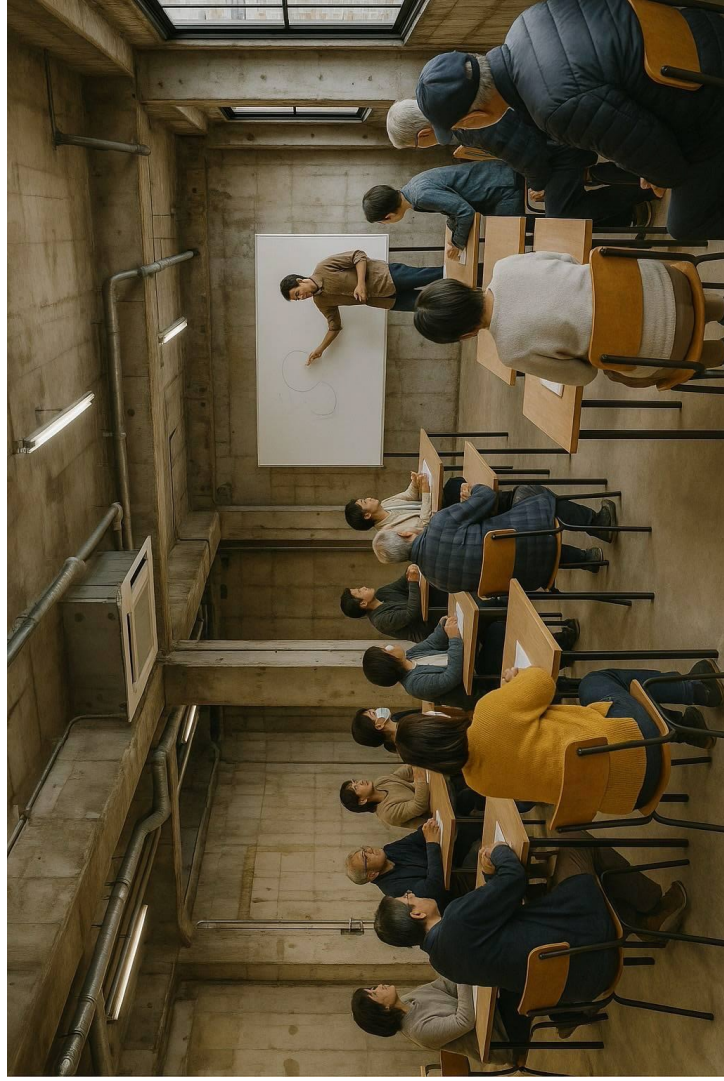
位置図（希望ヶ丘駅南口から徒歩1分 「ヨリズミビル」1階） 【写真下】 空き店舗が商店街のあちこちに



現況写真 (36.42坪 120.38㎡)



活用イメージ図



地域の方々とつくりあげるためのワークショップ

旭区・希望が丘のアンテナショップ



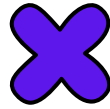
地域の居場所は自分たちで創る

希望が丘チャレンジベース

まちのコンシェルジュ

共感の輪

夢と希望を語り合い
住民同士のつながり



挑戦できる場

「好き」や「スキル」
を持ち寄る
地域の人財

0⇒1が生まれる場

イノベーションから生まれるつながりの輪

ワークショップ
住民主体のDIY



メールマガジン「ヨコハマ 人・まち」を読みませんか？

市民が身近なまちづくりに取り組むときに役立つ制度や地域のまちづくり活動の紹介、地域まちづくりに関するイベントや講座等に関するお知らせなどを提供する、無料のメールマガジンを読みませんか？ 配信申し込みは、下記の2次元コードからお願いします。



ヨコハマ 人・まち
メルマガ案

地域まちづくり課 “公認” のFacebook

「ヨコハマ市民まち普請ひろば」



まち普請ひろば

Facebookに登録していなくても誰でも見られます。

既にFacebookに登録されている方は、是非「いいね！」を宜しくお願いします。

(Facebookは協働事務局の横浜市住宅供給公社が運営しています)

自ら主体となって、身近なまちの課題を解決したい、あるいは魅力を高めたいと考えている方や、身近なまちの施設等の整備アイデアをお持ちの方は、年間を通じていつでも相談窓口を開設していますので、どうぞお気軽にご相談ください。

【相談・お問い合わせ先】

横浜市都市整備局地域まちづくり課

(横浜市中区本町6丁目50番地の10 市庁舎29階)

電話 045-671-2679 E-mail: tb-seibiteian@city.yokohama.lg.jp



令和7年度ヨコハマ市民まち普請事業 応援企業のみなさま



まち普請事業は、市民主体のまちづくりの支援を通じてSDGsの目標達成を目指す事業です。SDGs推進に精力的に取り組む以下の企業の皆様からの応援をいただいています。

